

日本企業振興協同組合から組合員の皆様へ、お役立ち情報や研修のご案内などをお知らせいたします。

## TOPICS

# 💡 M&Aに関するトラブルにご注意ください

## M&Aにおける不適切な買手にご注意ください

M&Aは後継者不在の中小企業が事業承継を実現するための手法として浸透し、多くの中小企業によるM&Aが実施されるようになっております。

一方で、不適切な買手との間でM&A成立後にトラブルに発展する例がみられております。

M&Aの売却を検討されている中小企業の方は、不適切な買手とのトラブルにご注意いただき、少しでも違和感のある場合は、弁護士や各都道府県の事業承継・引継ぎセンターにご相談ください。

### 【特に注意いただきたいケース】

- ・売手の財務状況が厳しく、経営者保証の扱いが重要になる場合。
- ・クロージング時点では低額の譲渡対価で、クロージングから一定期間後に相当程度の譲渡対価を支払うという条件を提示されている場合。

### <トラブル事例>ケース①

#### クロージング後、個人保証が解除されなかった事例

クロージング後、売手経営者の個人保証について、売手から買手に何度依頼しても契約に基づいた移行がなされなかった。その上で、買手が売手の現預金等の資産を回収したが、必要な事業資金の送金がなされず、売手は倒産。この結果、経営者保証が残っていた売手経営者が債務を負うこととなり、個人破産に至ってしまった。

～中略～

少しでも違和感のある場合は、弁護士や各都道府県の事業承継・引継ぎ支援センターにご相談ください。



日本弁護士連合会  
(ひまわりほっとダイヤル)



事業承継・引継ぎ  
支援センター

<中小企業庁HPより>

## MEMO

# 📝 ビジネスひとロメモ

## 不正のトライアングル

1950年代にアメリカの犯罪学者ドナルド・R・クレシーが提唱した理論です。個人が不正行為に手を染める際の心理的要因3つの観点(動機・機会・正当化)からモデル化しました。



この理論では、不正は個人の道徳的欠陥のみでなく、環境的要因も複合的に影響していることを指摘しています。例えば、企業環境やシステムを見直すことで、抜け穴を封じて「不正の機会」を与えないようにすることで、不正発生のリスクを大幅に低減できることを示唆しているのです。

## INFO

# 📍 事務局より

## セミナー開催予定

これからのオンラインセミナーのご案内です。

◆2024年9月30日(月)14:00-14:40

「外食業界での特定技能マンマー人材活用セミナー」

◆2024年10月11日(金)11:30-12:00

「外国人材に関する基本セミナー【技能実習制度】編」

いずれも、日本企業振興協同組合のオフィシャルチャンネルにて、YoutubeLive配信予定です。メールおよびホームページでもご案内いたします。

●8月29日(木)実施の「外国人材に関する基本セミナー【在留資格】編」は、いつでも下記アーカイブ動画でご視聴頂けます。

YouTubeオフィシャルチャンネル ▶  
<https://www.youtube.com/@JCPS-Coop>

